



大沢 ひろゆき

おおさわ

都民ファーストの会 中野区議会議員

中野イチの
世話好き男
元KDDI社員
(36年勤務)

Nakanoサンプラザシティについて

50年にわたり中野のシンボルとして、みなさまに愛された中野サンプラザ。昨年7月にその歴史を閉じました。この5月7日に移転した中野区役所の跡地とあわせて再開発。

2029年度に新たに建設されるNakanoサンプラザシティは62階建て262m。都庁よりも高い施設となります。中野区が権利を持つフロアでは富士山が一望できる展望テラス、バンケット・コンベーションセンター、子どもの遊び場などが配置され、民間事業者が保有するフロアでは中野サンプラザのDNAを継承したコンサートホール（最大7,000名収容）ホテル、商業施設、オフィス、分譲住宅などが予定されています。新たな中野区の象徴。

皆さま、どうぞお楽しみにお待ちください。



大沢ひろゆきの議会活動と2024年度予算



経済

なかのハート商品券をキャッシュレス化し、プレミアム付与することを通じて商店街活性化を（3定）

>>> デジタル地域通貨事業として予算化

環境

ZEB、※ ZEH※の推進のため、建設業者や区民への普及啓発を強化すべき（3定）

>>> 再生可能エネルギー及び省エネルギー機器等の導入に対する補助金の拡充として予算化

地域生活

区施設の登録手続きの一元化及びオンライン化を（2定）

>>> 施設予約システムの再構築事業として予算化

教育

AI(人工知能)教材を区立小中学校に導入を（2定）

>>> 区立学校のICT環境整備事業として予算化

◆ 2024年度 予算総括質疑の主な内容 ◆

過去最大規模、2,000億円超の一般会計予算。予算案全体は都民ファーストの会からの要望が多数採用されたものと評価

① 東京都との連携の更なる強化を

終活支援総合窓口事業、インクルーシブ教育支援員派遣事業、加齢性難聴の早期発見・早期対応など、東京都が市区町村支援予算を計上している事業の採用を。

② 予算精度及び執行率の向上

令和4年度決算での不用額（予算計上したが使われなかった額）の具体的な改善が可視化されていない。確認できた改善は、115億円の不用額に対し、4.3億円のみ。予算精度の向上のための一層の努力を。

③ 防災対策の遅れ 2000年までに新耐震基準で建てられた木造住宅への耐震診断改修費用助成。

来年度実施しないのは、中野区を含む4区のみ。補正予算も含めた迅速な対応を。

課題は
3点



